

2024年度 第3回マッチングワークショップ（MWS）実施報告

湘南工科大学 副学長・工学部長 森井亨

8月に入り、連日熱中症警戒アラートが出される猛暑が続く中、本年度第3回となるMWSを8月4日（日）に実施しました。申込みを締め切った時点での参加予定者は38名でしたが、開催日当日を含めキャンセルがあったため、最終的に30名の参加者で実施することとなりました。なお、このうちの1名の方は事前課題への取り組みがなされていなかったため、参加をご遠慮いただきました。参加にあたっては、事前の課題の確認と当日持参すべきものをしっかりと確認いただければと思います。

予定では受付開始はMWS開始の30分前でしたが、当日は猛暑で休憩する場所も限られていますので、少し早めに会場に入室してもらうようにしました。今回は7つのテーブルに分かれての実施となりました。サポート担当の学生が早くに到着した参加者に緊張を少しでもほぐすように声掛けしますが、それによって徐々に話し始める参加者、それでもまだまだ硬さが感じられる参加者など、様々な様子が見られました。開始時刻の数分前には参加者が全員揃い、MWS開始の準備が整いました。今回は無連絡での欠席者はなく、スムーズに開始を迎えることができました。

【オープニング】

あらかじめ設定された4～5人のグループに分かれて、全体の進行担当指示のもと、ビブスの着用、ニックネームを記載した名札を準備してもらいました。ニックネームは、グループのみんなに呼んでもらいたい名前をシールに書いてもらい、見やすい場所に貼ってもらいました。準備が整ったところで、全体の進行担当から実施内容、ワークショップを通して心がけてもらいたいこと、進行の概略を説明したのち、これから行うMWSの環境作りとして、簡単なアイスブレイクを15分程度行いました。開始前にすでに会話していたグループもありましたが、アイスブレイクで頭と身体を使うことでグループの一体感が作られてきたようでした。十分にグループメンバーと打ち解けてきたところで、いよいよMWSへと移行しました。

【前半のグループワーク】

メンバーそれぞれが2分間で事前に提示されていた課題について自分の考えを説明し、そのあと20分程度で意見交換を行いました。今回の課題は、「主要国の発電電力量と発電電力量に占める各電源の割合のデータ」をもとに「各国のエネルギー政策」について考えるものでした。事前に調べてきた情報を整理し、自身の意見を交えた発表が各グループで行われていました。発表は、事前にまとめてきた内容を読み上げるだけでなく、用意してきた資料をテーブルの真ん中に置いて指さしながら説明する人、聴き手にしっかりと伝わるように身振り手振りを交えながら説明する人、まとめた資料を人数分持参してメンバーに配って説明する人など、様々な方法で発表が行なわれていました。また、聴き手となった参加者は、自分のメモシートに大事な点や気になった点をメモしながらも、発表者に顔を向けて話しやすい雰囲気を作っている人や発表を頷きながら聴いている人など、グループごとに、また発表者ごとに雰囲気が変わりながらも、良い雰囲気の中で進行していました。それぞれの発表の後は自由に議論する時間となり、話し足りなかった点を話す人、それを促す人、発表

を聴きながら気になった点を質問する人などが見られました。また、議論が進むにつれて、リーダーシップを発揮する人や議論を活性化させようと発言する人など、自然に役割分担ができていくグループも見られ、事前課題の内容について様々な観点から、活発な意見交換が行われていました。

【グループワークのまとめと休憩およびグループ移動】

休憩を含めて10分程度の時間をとり、各自がグループで議論した内容を整理し、次のプレゼンテーションで話す内容の準備を行いました。ほとんどの参加者が休憩時間中も席を離れず、グループのメンバーと意見交換をしながらメモの整理に取り組んでいる様子が見られました。

【後半のプレゼンテーション】

各グループから1名ずつ集めて作った新しいグループで、前半のグループワークで議論した内容を2分間で順番に説明してもらいました。その後2分間の質疑応答の時間を設け、意見交換が行われました。休憩時間中に作成したメモを見ながら、各自がまとめた議論内容を新しいグループメンバーに伝えるように、作成したメモや資料を見せながら発表を行っていました。また、質疑応答の時間も引き続き様々な意見が飛び交い、白熱したグループディスカッションとなっていました。

【クロージングと振り返り】

最後に、進行担当の教員から終了にあたっての説明を行い、振り返りシートへの記入と簡単なアンケートへの回答、終わった人から流れ解散としました。今日初めて会うメンバー同士でしたが、帰り際にはお互いに声を掛けながらにこやかに帰って行く姿が見られました。

終了後に記入してもらった振り返りシートでは、自分がこのMWSを通して心がけたことがどの程度達成できたか、どのように改善したら良いかを具体的に書いている人や、他の人の発表内容や参加の様子を注意深く観察し、自分の改善点を書いている人など、しっかりと振り返りができている人もいました。単に何を行なったかだけでなく、そこから何を感じ、今後どのような取り組みができるかまでまとめることを意識してもらえると、意味のある振り返りとなるでしょう。

このMWSというイベントは、本学の総合型選抜MWS方式への出願要件となっていますが、その目的は現在の湘南工科大学での学修の基盤となる「アクティブラーニング」を取り入れた授業と同様の学び方を体験し、本学との相性を測ってもらうことです。本学ではMWSのような授業形式を様々な授業で取り入れています。総合型選抜での出願に限らず、湘南工科大学を受験校の1つとして考えている皆さんには、是非このMWSに参加してもらい、大学生として学ぶ4年間のこの湘南工科大学で過ごすことが自分に合っているかどうかを確認してもらえればと思います。様々な大学がある中で、このMWSが自身に適した大学選びの参考になればうれしく思います。